

- 1 外国人の方が活躍している県内企業を外国人★リポーターと日本人★アシスタントが取材しました！
- 2 災害時語学サポーター養成研修、実践研究会、親と子の多言語おはなし会
- 3 JICA からお知らせ
- 4 MIEF からのお知らせ

外国人の方が活躍している県内企業を 外国人★リポーターと日本人★アシスタントが取材しました！

MIEFでは、今年度三重県からの委託を受けて、外国人活躍★創造発信事業を実施しています。この事業では、外国人★リポーターと日本人★アシスタントがチームになり、三重県の良いところや、外国人の方が活躍している企業を取材し、日本語と母語でSNS等で情報発信するという活動を行っています。

外国人★リポーターは、県内在住の日本語が母語でない方で、「外国人が活躍する企業を取材したい！みんなにお知らせしたい！」という意欲のある方たちです。主に県内の大学生や高校生です。

また、日本人★アシスタントは、取材や記事の添削、報告等について外国人★リポーターの取材活動をサポートしています。

活動に際しては、6月23日に事前研修に参加し、取材や報告会に役立つ話し方や魅力ある文章の書き方、写真撮影方法等を学びました。

また、第1回取材として、ガイドボランティアの方と一緒に津城址を見学・取材しました。各リポーターの取材記事は、MIEF HPに掲載しています。ぜひご覧ください。

詳しくはコチラ

<http://www.mief.or.jp/jp/gaikokujinkatsuyaku.html>



▲梅雨空の下、皆で初めての取材に取り組みました！

企業取材は、8月から10月にかけて6つのグループに分かれて行いました。津市にある株式会社浅井農園では、企業の先進的な取り組みや、従業員で中国出身の呉さんやベルギー出身のハイダーさんから入社したきっかけや仕事の楽しさ・難しさなどについて教えていただきました。

外国人★リポーターは、企業からの話を熱心に聞くと共に、積極的に質問をしていました。また、日本人★アシスタントは、説明のフォローや記事作成の助言などを行い、取材記事を完成させました。県内には活躍されている外国人の方がたくさんいます。外国人★リポーターたちが緊張しながらも一生懸命準備し完成させた記事を、ぜひご覧ください。



▲浅井農園のハイダーさん、呉さんと

また、12月8日にはアスト津にて、外国人★リポーター県内企業取材報告会を行います。これから三重県内での就職を考えている方にとって、とても貴重な情報になると思います。ぜひご参加ください！

**【外国人学生が発見！
外国人活躍のヒミツ★ヒケツ！】
(外国人★リポーター県内企業取材報告会)**

日時：2018年12月8日（土）
13：30～15：15

場所：アスト津3階 みえ県民交流センター
交流スペース（津市羽所町700）

対象：県内で就職を目指す高校生・大学生の方、
学校関係者の方

ご参加お待ちしております！

災害時語学サポーター養成研修

今年度は西日本豪雨や大阪北部地震、関西空港を冠水させた台風21号、そして北海道で震度7を記録した北海道胆振東部地震など、災害が相次いでいます。

このような中、被災した外国人観光客や在住外国人への対応の課題がメディアでも取り上げられてきました。

災害時は、被災状況や交通状況、支援情報などをタイムリーに入手することが大切ですが、外国人には情報が届きにくいという課題があります。

MIEFは、大規模災害が発生した際、外国人に情報を発信する拠点として、県との協働で「みえ災害時多言語支援センター」を設置・運営することになっています。しかし、訪日外国人や在住外国人に情報を多言語に翻訳し届けるには、幅広い多様な人材の協力が必要となっており、協力者（ボランティア）の確保が課題となっています。

このような状況を踏まえて、MIEFは三重県から事業を受託し、今年度県内の避難所やみえ災害時多言語支援センターにおいて的確に災害情報を翻訳したり、外国人の相談に対応したりすることができる人材の育成を目指した研修を実施しました。



◀東日本大震災の際に活躍した言語ボランティアの様子を語る、仙台市観光国際協会の須藤伸子さん

研修は7月から9月にかけて3回行いました。第1回では、三重県の災害や災害時語学サポーターの役割、そしてサポーターに求められる心得および倫理について学び、倫理に基づいた相談事例の対応を考えるワークショップを行いました。

第2回では、災害時多言語支援センターの役割と機能および災害時のやさしい日本語の座学研修の後、やさしい日本語を含めた、ポルトガル語、英語、中国語の災害情報の翻訳訓練を行いました。

第3回では、被災者の電話相談への対応や巡回をする際の留意点について学びました。そして、実際に外国人被災者からの電話相談に対応したり、避難所を巡回し、情報を収集・提供したりする訓練を行いました。

災害時の外国人対応が課題として挙げられている今、このように被災した外国人に情報等を提供して「安心」を届ける人材の育成と確保は、各地で必要不可欠になっています。



▲仮想避難所を巡回し、被災した外国人に対応するサポーター

実践研究会

今年度は、7月23日と8月27日に、外国人児童生徒の教育に携わる県内の教職員および日本語学習支援者等を対象とした、教育実践研究会を開催しました。

第1回は、東京外国語大学名誉教授の小林幸江さんを講師にお迎えし、「外国人児童生徒のためのJSL対話型アセスメントDLAの使い方『聴く』編」として、お話しいただきました。小林さんはDLA開発に携わった方であり、効果的な活用方法について詳しくご説明いただきました。

第2回は、「県内の取り組みから一鈴鹿市における外国人児童生徒のための取り組みについて」として、鈴鹿市教育委員会、鈴鹿市立玉垣小学校、鈴鹿市立創徳中学校、三重県立石薬師高等学校より発表いただきました。各現場での実践や課題を共有し、関係者が連携して取り組むことの大切さを感じました。

第1回、第2回ともに多くの方にご参加いただきました。来年度以降も皆さまにご満足いただけるような企画を考えたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。



▲第1回小林先生の講義の様子

親と子の多言語おはなし会

7月28日に、鈴鹿市社会福祉センターで、親と子の多言語おはなし会を開催しました。今年度は、鈴鹿市の団体「国際子育てサロン FunFunサロン」による「ブラジルフェスタ ジュニーナ」のイベントで共催しました。

ブラジルと中国につながる親子を中心に35人が参加し、2種類の絵本をポルトガル語・中国語・日本語で楽しみました。その他、「ぺんぎんたいそう」をしたり、黒いスクラッチシートに絵を描いたりもしました。

活動後は、おいしいブラジル料理をいただきながら、参加者同士が親子でおしゃべりしたり、遊んだりすることができました。

外国人住民が増加する一方で、このように外国につながる親子が集まって交流する機会はまだまだ多くありません。これからも、よりよい会を提供していきたいと思っております。



▲子どもたちはスクラッチアートに夢中

国際交流・国際貢献

みなさん、こんにちは。

今回は 2018 年 9 月末から 10 月にかけて三重県から世界へ羽ばたいた 5 人の JICA ボランティアにインタビューを行いました。

それぞれの国に旅立つ前の熱い思いを語っていただきました。

【インタビュー内容】

- ① 現地ではどのような活動をしますか？
- ② 2 年間の派遣にあたっての抱負！
- ③ 2 年後、私はこうなっていたい！



※写真左から 栗田修さん、地割聖さん、久世惇人さん、山口恵里佳さん、小倉大志さん

おぐら たいし
小倉 大志さん

【津市出身】 職種：障害児・者支援 派遣国：ヨルダン

- ① 知的障がい者を対象に職場開拓やジョブコーチといった就労支援の活動を行います。
- ② 初めて経験することばかりだと思いますが、前向きに積極的に活動し、異文化理解を深めてきたいです。
- ③ 自分の経験を周りに発信し、たくさんの人に影響を与えられるようになりたいです。

やまくち えりか
山口 恵里佳さん

【四日市市出身】 職種：青少年活動 派遣国：キルギス

- ① 小・中学生の年代を対象に、英語の授業を行い、現地の職員と共に授業改善を行います。
- ② 現地語を話し、現地の食べ物を食べ、現地の人の目線に立って、活動を行っていきたくと思っています。
- ③ 今よりも更に教育という専門性を高めて帰国したいと思っています。

くぜ あつと
久世 惇人さん

【松阪市出身】 職種：コミュニティ開発 派遣国：ルワンダ

- ① コーヒー農家の生産状況を調査し、生産性の向上・収益の向上を目的とした幅広い活動をしていきます。
- ② まずはルワンダを良く知り、好きになりたいと思っています。ルワンダの生活になじむことができれば、自然に道は見えてくると思っていますので、楽しむことを忘れずに活動して行こうと思っています。
- ③ ルワンダを好きになって帰国します。今後もつながっていける関係性づくりをしてきます！

じわり せい
地割 聖さん

【鈴鹿市出身】 職種：コミュニティ開発 派遣国：ザンビア

- ① 広大な湿地帯を活かし、国を挙げて稲作を普及していく中でのお手伝いをします。
- ② どのような困難も乗り越える強さと、超えられない壁を避ける賢さを持って活動に臨みます。
- ③ 帰国後、皆と笑顔でまた会えるような活動・生活をしていきたいです。

くり た おさむ
栗田 修さん

【いなべ市出身】 職種：化学・応用化学 派遣国：アルゼンチン

- ① 発酵工業に関する研究支援
- ② アルゼンチン（任国）と日本の研究の架橋
- ③ 任国の異文化を理解し、日本へ紹介することのできる人材となることです。

いつか世界を変える力になる ～チャンス！チャレンジ！チェンジ！～

JICA ボランティア 秋募集！ 応募受付中！11月1日(木)正午締切！まだまだ間に合います！

【JICA ボランティアについてのお問合わせ】

(公財) 三重県国際交流財団内 JICA 三重県デスク (TEL: 059-223-8003)



ようこそM I E Fの輪

皆様からの温かいご支援ありがとうございます。
(平成29年6月1日～9月30日ご入金分。順不同・敬称略)

団体会員様：国立大学法人三重大学、公益財団法人ラボ国際交流センター津支部、青年海外協力隊三重県OB会、有限会社チカザワジム、松阪国際交流協会、公益社団法人三重県医師会、一般社団法人三重県薬剤師会、三重弁護士会、津市国際交流協会、三重県商工会議所連合会、三重県行政書士会、国際技術支援協同組合、三重県武術太極拳連盟、特定非営利活動法人三重県日本中国友好協会、日中友好促進三重県民会議、四日市ロータリークラブ、三重県中小企業団体中央会、三重県職員労働組合、株式会社伊勢出版、有限会社フィルネット、三重県国公立幼稚園・こども園長会、伊藤印刷株式会社、公益社団法人三重県歯科医師会、学校法人鈴鹿医療科学大学、東海印刷株式会社、合資会社黒川印刷、ホームステイ・イン津実行委員会、学校法人高田学苑、権利擁護ネットライフサポート、公益財団法人国際交通安全学会IATSSフォーラム、公益社団法人津青年会議所、三重県協力隊を育てる会、学校法人享栄学園

個人会員様：川岸光男、宇河晴美、浦中千佳央、浅井眞八、大野次郎、先本賢一、田中克巳、北村文明、渥美利弘、一見幸雄、岡本宗男、金森正、近藤玄道、清水美穂、玉川秀樹、舟橋裕幸、山崎正子、吉川重彦、船見和秀、井山郁子、北岡寛之、正路真一、城田一子、鈴木和子、中山治、野原誠、服部誠子、本岡美保子、山根一枝、石川博子、上田富和、上村秀作、三好孝、湯谷紘介、米田智彦、鏡康男、柏木潤一郎、中川勝博、平野睦子、安藤和紀、大野鉄平、小島久美子、土橋伸好、小川悟、薦田正男、長田芳樹、三宅春子、谷本綾香、飯田一生、坂倉秀之、山口和夫、加納光、山中秀二、勝本優子、西川まり子、大南友敬、土佐佳子、永戸千草、岩本紀子、永田正巳、亀井利克、服部明子、中津幹、堀切孝良、稲垣正文、野口幸彦、牧田拓己、宇敷、米田あかね、楠理紗子、中園幸絵

パートナー会員様：高木加奈子、川瀬照代、申恵景、高野谷久、高松由、鈴木 マリア イレネ 恵美子、江尻千秋、荒木真佐子、岡村健児、エバート幸子、宮田愛理、小林ひろみ、菅野孝、稲熊文代、栗谷宏治、西崎ますみ、田中クリッチャヤー、奥野順子、松井優美、程顕杰、近藤恵、早瀬光秋、池尻修、ドウティヒューエンガー、巖水陽子、青山恵美、唐文軒、太田道夫、佐々木真紀、舘節子、王文齡

奨学生の集い

8月12日アスト津にて、三重県私費海外留学生奨学金奨学生の集いを実施しました。当日は、多方面で活躍する奨学生の方8人に参加いただき、留学生活についての発表や三重県への貢献活動等についての意見交換を行いました。奨学生の方々は現在、国内外で活躍されています。今後もこのネットワークを大切に、情報交換の機会を設けていきたいと思っております。



▲奨学生の集い参加者と

「小さなブラジル図書館」をご利用ください！

MIEFでは、国際ソロプチミスト三重様、津ライオンズクラブ様などからのご寄附により「小さなブラジル図書館」を運営しています。外国語の図書も所蔵し、個人や学校関係者の方に多くご利用いただいております。

この度より多くの方にご利用いただけるように、持ち運び可能な図書セットを作成しました。内容は、小学校低学年向け、高学年～中学生向けなどに分かれています。郵送する際の配送料はご負担いただくこととなりますが、MIEFのあるアスト津にお越しの際には、お持ち帰りいただき、一定期間学校等に置いていただくことができます。ぜひご利用ください。



▲ブラジル図書の一部

インターン、職場体験について

MIEFでは、多文化共生について理解を深めていただくこと等を目的としてインターンや職場体験を受け入れています。インターン生等の感想をMIEF HPに掲載していますので、ぜひご覧ください。

<インターン学生>

三重大学：テイショカンさん、グエンティスアン
ダオさん、水口佑華さん、岡本大和さん

<職場体験学生>

津市立南郊中学校：フォンセカブルーノ キヨシさん

詳しくはコチラ

<http://www.mief.or.jp/jp/intern.html/>

開館案内 開館：月～金 9：00～17：00 / 閉館：土・日・祝日・年末年始

発行 (公財)三重県国際交流財団 (MIEF)

〒514-0009 三重県津市羽所町700番地 アスト津3階 TEL 059-223-5006 FAX 059-223-5007

ホームページアドレス：http://www.mief.or.jp/ Eメールアドレス：mief@mief.or.jp

Facebook：公益財団法人三重県国際交流財団 (MIEF) Twitter：@MIEFsince1991

